

横浜吉田中同窓会会報

発行人 横浜吉田中学校同窓会

発行日 平成30年9月25日

爽秋の候 同窓会会員の皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただき有難うございます。

過日平成30年度同窓会会費の納入をお願い申し上げたところ多くの会員の皆さまからご納付いただき有難うございました。

同窓会会費は母校の三大行事(合唱祭・体育祭・文化祭)の協賛金や平成27年から同窓会が企画、後援してまいりました母校の生徒さんへ生の落語を鑑賞する『落語文化をつたえる会』の活動費とさせていただきます。

同窓会が再発足して十一年目となります。まだまだ組織も不十分で活動も限られておりますが、母校の支援と会員の皆さまの親睦に努めてきております。

なお今回ご納入いただいた会員の皆さまのご芳名を下記に一覧してあらためてお礼申し上げます。

末筆となりましたが会員皆さまのますますのご健勝をこころより祈念申し上げます。

横浜市立横浜吉田中学校同窓会会長

中村宜吉

役員一同

平成30年度同窓会会費納入者ご芳名一覧

平成30年8月31日現在

(順不同・敬称略)

鈴木 正江(昭26) 坂口賢次郎(昭26) 堀井美代子(昭26) 中村 宜吉(昭26)
西村 昌矩 (26) 市井 ヨシエ (26) 黒木ヒデ子 (26) 野田 信子(26)
桑原 康子(26) 椎名 巖(27) 向江 裕行(29) 内藤 強(29)
金井 理代(29) 松山 靖子(29) 三好日出一(29) 打木 栄子(29)
横井 浩之(29) 金子 賢三(30) 岡 和江(30) 渡辺富佐子(30)
越水 暉雄(30) 保田 國雄(30) *河合 康枝(30) 根本利恵子(30)
近藤恵美子(30) 井田 春江(30) 宇留野奈美枝(30) 南保 満子(30)
木下 隆(30) 藤川 悦生(30) 朝倉 泰子(30) 大東千恵子(30)
五味 一世(30) 石塚 恒子(30) 玄野 公余(30) 坂川 栄(30)
*徳永 正臣(33) 村田 秀雄(34) 井上 圓三(35) 置田 光男(35)
杉野 芳之(36) 水野 一徳(40) 本多 俊雄(40) 中島 克己(40)
浜村 延明(40) 浅田 千秋(40) 中村 眞一(40) 谷藤 宗克(40)

中上 直(41) 古川 徳和(43) 岡本 修司(43) *栗田 徹(43)
栗田 徹(43) 鈴木 浩(46) 鈴木 富(47) 織茂 浩章(47)
鎌田 仁(48) *鈴木 幸康(48) 中島 宏(48) 秋元 寛(48)
古関 昌弘(56) 花井 一郎(不明)

(但し*の方は29年度会費を平成29年7月24日以降送付いただいた方です)

以上

∞∞ 同窓会名誉会長を偲んで ∞∞

7月2日横浜吉田中学校同窓会名誉会長 椎名 巖さん(落語家 桂 歌丸師匠)の訃報が飛び込んで参りました。驚きはしなかったのですがとうとう来たか、という思いで胸が締め付けられました。

落語一筋に精進し、体調のすぐれない時でも人から何か頼まれると「否」言えない方で、思いやりのある“真っ当”な生き方しかできない不器用な人柄、その人間味がいつも周りの人々から愛され慕われていました。小学校の頃から育った環境が花街の世界でしたが祖母に厳しく育てられ、一本“芯”の通った少年期を過ごしたせいで人情味豊かな落語家に成長していきました。

吉田中学では私の一年後輩でしたが学年の違いで、同じ町内に生活していながら余り付き合った事はなかったように記憶しています。大人になってからは近隣のよしみで顔を合わせる事が多くなり、私が町内会長をやっていたせいもあって、町内のお祭りでは毎年必ず「やぐら」に上がって祭り太鼓を敲いて、集まった町内の女衆や子供達を喜ばしてくれました。

横浜の下町、ちゃきちゃきの浜っ子、“椎名 巖”さんに同窓会名誉会長職を引き受けて頂いてからかれこれ10年もたちました。平成24年の同窓会総会には忙しい時間をやり繰りして参加していただき、出席者と和気あいあいの楽しい時間を過ごしたことなど懐かしく思い出されます。また母校の先輩として後輩に「落語文化」を伝える落語会に出演をお願いしたところ二つ返事で承諾していただきましたが、現在自分の体調がすぐれないので迷惑かけるといけないからとお弟子さんを紹介していただきました。その縁で今日まで3回に渡り同窓会提案の「落語文化」を伝える会を催すことができました。

ほんとうに惜しい人に旅立たれました。

心からご冥福をお祈りいたします。

横浜吉田中学校同窓会会長
中村 宜吉

